

**大学発新産業創出プログラム 社会還元加速プログラム(SCORE) チーム推進型
事後評価結果**

研究開発課題名:	狭小空間においてランダム発生する事故誘発静電気の検知技術の事業化検証
研究担当者(所属・役職・氏名)	大阪府立大学 大学院工学研究科 准教授 高橋 和

1. SCORE での活動目的

狭小空間における静電気発火事故の予知という課題を解決するために、超小型シリコンラマンレーザを用いた静電気センサという技術シーズをもとにした事業化仮説を検証する。アーリーアダプタと予期される宇宙産業、化学プラント産業を中心に顧客ヒアリングと市場ニーズ調査を進め、顧客対象を明確にする。並行して、静電気センサの原理実証、プロトタイプとなるモジュールを作製して、事業化に向けたデータ収集を行う。以上の活動により、技術シーズである静電気センサの市場規模、競合技術に対する優位性、知財取得戦略を検証してビジネスモデルを具体化する。

2. 総合所見

事業化仮説により顧客候補を絞り込んでヒアリングを実施し、宇宙産業への製品提供という技術シーズの優位性を生かしたビジネスモデルを構築した点を高く評価する。事業化に向けたチームアップも進めており、着実な進捗が認められる。

以上